

施策番号	2501		
施策名	幹線道路ネットワークの充実		
概要	円滑なひとの移動，物流を支える幹線道路ネットワークの整備を推進する。とくに，災害などの緊急時に傷病者の搬送，物資の輸送に必要な緊急輸送路の確保など市民が安心できる安全な道づくりを推進する。		
担当局・部室	建設局・土木管理部，道路建設部	共管局・部室	
上位政策	25 道と緑		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市・京北町合併建設計画 いのちを守る 橋りょう健全化プログラム		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名		25年度	26年度	27年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	第1次緊急輸送路における道路改良延長(km)	b	b	0.27	0.17	0.25	68.0%	b	1.00
2	緊急輸送道路における橋りょう耐震補強率(%)	a	a	52.6	59.6	63.2	94.3%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

#### 2 市民生活実感評価 \*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	災害時も安全に移動できる道路網ができています。	29	106	203	88	64	490	c
		5.9%	21.6%	41.4%	18.0%	13.1%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c

### 3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					26 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、道路完成に至るまでは市民に成果が実感されにくいいため、客観指標評価を重視する。							
(原因分析) 【客観指標】●第1次緊急輸送路における道路改良延長については、162号(栗尾バイパス・高雄改良)事業の執行により、3年連続b評価と安定している。 ●緊急輸送道路における橋りょう耐震補強率については、平成23年12月に策定した「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づき、取組を実施し、計画どおりに進捗していることから、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】客観指標評価では高評価となっており、事業そのものは一定進捗しているが、道路については供用を開始して市民に利用されるようになって初めて成果が実感されるため、事業の成果が実感されにくいことが、昨年度に引き続きc評価となった一因であると考えられる。						25 年度	B

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	高速道路3路線の抜本的見直し	18,556	2,330	—	建設局
2	橋りょうの耐震補強と老朽化修繕	2,000,626	5,203,356	—	建設局
3	JR山陰本線複線高架化事業	2,824	—	—	建設局
4	一般国道162号(栗尾バイパス)の整備	282,582	204,102	—	建設局
5	鴨川東岸線整備事業	168,695	435,851	—	建設局
6	京阪本線淀駅周辺整備事業	367,258	—	—	建設局
7	小塩山大原野線整備事業	193,086	—	—	建設局
8	大山崎大枝線の整備	134,173	127,673	—	建設局
9	本町下高松通	245,499	709,206	—	建設局
10	一般国道162号(高雄改良)の整備	216,577	592,336	—	建設局
11	I・Ⅲ・4吉祥院下鳥羽線	294	294	—	建設局
12	I・Ⅱ・3伏見向日町線	3,145	294	—	建設局
13	I・Ⅲ・14葛野大路(太子道通～丸太町通)	294	294	—	建設局
14	I・Ⅲ・45羽束師墨染線	294	294	—	建設局
15	I・Ⅲ・49久世梅津北野線(桂川橋梁)	294	294	—	建設局
16	I・Ⅲ・4京都貴船線	294	294	—	建設局
17	Ⅱ・Ⅱ・12御陵六地藏線(第三工区)	10,023	33,752	—	建設局
18	Ⅱ・Ⅱ・28大津宇治線	14,284	16,439	—	建設局
19	Ⅱ・Ⅱ・29桃山石田線	12,496	15,497	—	建設局
20	Ⅱ・Ⅲ・19北泉通	69,795	178,760	—	建設局
21	Ⅱ・Ⅲ・41西小路通	60,312	294	—	建設局
22	3・3・128久世北茶屋線	7,924	294	—	建設局
23	3・3・132向日町上鳥羽線	14,952	294	—	建設局
24	3・3・5中山石見線	327,075	53,488	—	建設局
25	3・5・116山陰街道	4,175	38,054	—	建設局
26	一般国道162号(川東拡幅)の整備	294	294	—	建設局
27	一般国道367号(花尻地区)の整備	294	294	—	建設局
28	一般国道477号(大布施拡幅)の整備	294	294	—	建設局
29	羽束師橋関連道路他	166,962	60,029	—	建設局
30	宮前橋の整備	92,519	271,174	—	建設局
31	京都広河原美山線(鞍馬北工区)の整備	3,521	114,655	—	建設局
32	京都広河原美山線(二ノ瀬バイパス)の整備	1,198,589	147,106	—	建設局
33	御薊橋の整備	274,183	587,387	—	建設局
34	小山大宅線の整備	183,299	10,510	—	建設局

35	小川通の整備	3,606	294	—	建設局
36	西陣杉坂線の整備	5,885	294	—	建設局
37	太秦天神川駅西部地域のまちづくり事業計画の調査	3,724	5,717	—	建設局

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

### ＜今後の方向性＞

●災害時における避難ルートや道路ネットワークの確保を図るとともに、平常時においても安心・安全な市民生活を守るため、「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」に基づき、橋りょうの計画的な耐震補強、老朽化修繕を実施していく。同時に、防災カルテの見直し、道路における落石や斜面崩壊を未然に防止する災害防除対策に取り組む。

●財政状況が厳しい中で、安全な道づくりを進めるため、選択と集中による精査を行ったうえで、着実に取組を推進していく。

施策名	2501	幹線道路ネットワークの充実				
-----	------	---------------	--	--	--	--

指標名	第1次緊急輸送路における道路改良延長 (km)					
-----	-------------------------	--	--	--	--	--

担当課	道路建設課		連絡先	222-3577		
-----	-------	--	-----	----------	--	--

1 指標の説明

災害などの緊急時に他の府県からの輸送ルートとなる高規格道路、直轄国道等と京都府庁、京都市役所を結ぶ路線（第一次緊急輸送路）における道路改良延長（都市計画道路を除く）

2 指標の意味

真に必要な緊急輸送路における改良率を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：（執行事業費÷総事業費）×計画総延長  
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	25年度	26年度		数値	根拠	
数値	0.27	0.17	0.10km減	0.25	緊急輸送路整備目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	68.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が  
a：80%以上  
b：60%以上80%未満  
c：40%以上60%未満  
d：20%以上40%未満  
e：20%未満

6 基準説明

道路改良延長を進めるにあたって、事業対象地の地権者及び地域住民の合意形成・協力が必要不可欠であることから、当該年度の目標整備延長と比較して達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
b	b	b

指標名	緊急輸送道路における橋りょう耐震補強率（%）					
-----	------------------------	--	--	--	--	--

担当課	橋りょう健全推進課		連絡先	222-3561		
-----	-----------	--	-----	----------	--	--

1 指標の説明

災害時における避難ルート及び救援車両等の通行の確保と市域の骨格となるネットワークを形成するための緊急輸送路上に位置する橋長15m以上の橋りょうの耐震補強完了率

2 指標の意味

災害時に道路ネットワークが形成されていることを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：対策済橋りょう数÷対象橋りょう数  
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	25年度	26年度		数値	根拠	
数値	52.6	59.6	7.0ポイント増	63.2	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために必要な当該年度の進捗割合	94.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		75.4	28年度	79.0%	「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」第1期プログラム（H24～H28）に掲げる14橋全てを耐震補強

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が  
a：80%以上  
b：60%以上～80%未満  
c：40%以上～60%未満  
d：20%以上～40%未満  
e：20%未満

6 基準説明

・緊急輸送路上の耐震補強が必要な橋りょうの耐震補強完了率。  
・財政状況の寄与度が比較的高いことから、最新数値を目標値と比較して、達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
a	a	a